

令和7年度第1回聴覚障害者センター指定管理者運営委員会の概要

- 1 日 時 令和7年5月24日（土）
開会 13時30分、閉会 14時42分
- 2 場 所：岡山県聴覚障害者センター研修室
- 3 出席委員 岡山県聴覚障害者福祉協会 竹村 真明、音田 守利
岡山県難聴者協会 森 俊己、谷口 進
- 4 会議に出席した者
岡山県聴覚障害者センター 所長 神田 康弘
- 5 情報保障：岡山県要約筆記団体連絡会2名、センター職員4名
- 6 報告事項
 - (1) 年度別施設等の利用の許可状況
 - (2) 令和7年4月月例報告書
 - (3) 4月までの各種事業の実施状況と実施計画
 - (4) 令和7年度運営委員及び事業委員
 - (5) 令和7年度手話通訳士養成研修事業
 - (6) 令和7年度手話通訳者養成事業
 - (7) 令和7年度要約筆記者養成事業
- 7 協議事項
 - (1) 令和6年度岡山県聴覚障害者センター中期目標の評価
 - (2) 令和7年度岡山県聴覚障害者センターの行事予定について
- 8 その他
令和7年度運営委員会の会議日程
- 9 協議の概要（○は委員の発言、◇はセンターの発言）
 - ①災害対策本部の活動について

- 災害対策本部会議の日程に相違があるのではないか。
- ◇第2回の研修会は、令和8年1月から3月を予定している。
- 第3回の災害対策本部会議は、令和7年上半期を予定している。

②聴覚障害者関係研修事業について

- 5月に実施した要約筆記者研修会の参加者は何名だったか。
- ◇64名であった。

③災害救援専門ボランティア研修事業について

- 9月に予定している研修会の内容は決まっているのか。
- 遠隔訓練は実施しないのか。
- ◇事務局長から紹介があった能登半島沖地震に関連した内容を予定している。テーマは、まだ決定していない。
- 遠隔訓練の実施も検討している。
- 遠隔手話サービス等の推進に要約筆記者も含まれている。慣れるところから実施していただきたい。
- ◇実施したいと考えている。

④スマホ教室

- 開催日程や内容は決まっているか。
- ◇日程等は、未定である。

⑤事業委員名簿について

- 事業委員の名簿に誤りがある。
- 理事会にて事業委員は決まっている。改めて確認し、報告する。

⑥センター事業について

- TRS 地域講習会とはなにか。
- ◇電話リレーサービスに関する内容の講習会のことである。

⑦中期目標について

- 中期目標は、毎年変わるのか。
- ◇目標を定めた当初の数値から変わらない。
- 指定管理者は毎年更新するのか。
- ◇5年間の指定管理期間で運営している。
- 中期目標の括弧で令和8年度とあるが、ということか。
- ◇令和8年度に向けての目標ということである。
- 手話通訳養成基本Iの令和6年度7人とあるが、受講生数か。
- ◇評価目標の欄に記載のとおり修了者数である。

○基本課程Ⅰの修了者は7人だが、受講生数は少なかったのか。

◇受講生12人中7人が修了した。

○要約筆記者指導者養成研修受講者が1人はなぜか。

◇目標が2人、実績1人である。

○予算では2人分あると聞いている、なぜ1人か。

◇コロナで予算が1人分に削減された。

○聴覚障害者関係研修について、聴障協は研修に参加している。

県難協は断られている。事業委員も断られた。

◇聴障協は、講師として研修会に参加している。

◇要約筆記は、外部講師を依頼している。対象は要約筆記者である。

◇事業委員の名簿に誤りがあれば連絡をお願いします。

10 その他

運営委員会の日程

第2回	7月26日(土)	13時30分～
第3回	9月27日(土)	13時30分～
第4回	11月22日(土)	13時30分～
第5回	1月24日(土)	13時30分～
第6回	3月28日(土)	13時30分～